

2社1団体が市長に報告

従業員や顧客、地域社会を幸せにする経営を実践している企業・団体を表彰する「日本ではいちばん大切にしたい会社」大賞で、入賞した浜松市内の2社と会計事務所の代表者が7日、市役所を訪問し、中野祐介市長に受賞を報告した。

大賞では、電気設備工事業の松川電気（中央区有玉北町）が中小企業基盤整備機構理事長賞、LPガス販売などのエネジン（同区高林）と税理士法人東海浜松会計事務所（同区元城町）が審査委員会特別賞に輝いた。

休業中の賃金の100%補償や地域貢献活動が評価された松川電気の小沢邦比呂代表は「『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』を体現

するのが使命。今後も社員と支え合っていきたい」と話した。東海浜松会計事務所の内山隆司代表は独立する社員を大切にする経営方針を紹介し、「賞をいただけてありがたい」と感謝。行政や地域住民らと協力した持続可能な開発目標（SDGs）活動に力を入れるエネジンの藤田源右衛門社長は、「取り組みを続け、これまで以上に社会に貢献したい」と語った。

同大賞は、大学教授や企業経営者などでつくる「人を大切にする経営学会」などが主催。過去5年でリストラや重大な労働災害がないなど、条件を満たした全国の企業・団体185社から応募があり、うち30社が入賞した。

（小林颯平）



中野祐介市長（中央）に受賞を報告する各企業の代表者ら＝浜松市役所で